

馬用マイクロチップの埋め込み手技について

平成19年に生まれた競走馬向けの子馬から、マイクロチップの処置が行われるようになりました。その中の一部に読取り不能な例がありました。念のため、埋め込み手技(又は方法)について再度、ご確認下さいますようお願い申し上げます。

< 製品添付文書より >

■ 使用方法

【事前の準備】

1. マイクロチップがセットされているディスプレイのインジェクターを滅菌パックの上から、マイクロチップリーダーでスキャンし、マイクロチップ、リーダー共に正常に機能していること、およびインジェクターがセットされている滅菌パックに貼付されているラベル番号と、マイクロチップ番号が同一であることを確認する。

【埋め込み】

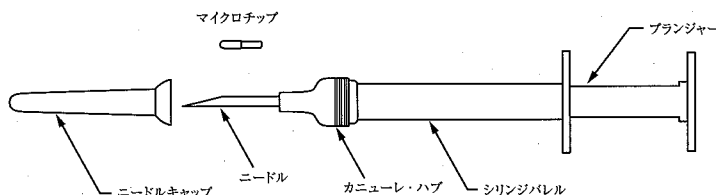
1. 埋め込み部位は、馬の左側、頸部中央の耳根とキ甲前縁との中間点で、項韌帯又はその付近を目標とする。
2. 馬体をリーダーでスキャンして、馬にマイクロチップが既に埋め込まれていないことを確認する。
3. 毛の状態に応じて剃毛等の処置を行い、埋め込み部位の皮膚を消毒する。
4. 馬を適切に保定する。
5. 埋め込み部位を確認して、静脈に穿刺しないよう針を根元まで差し込む。ゆっくりとプランジャー(押し子)を押し入れ、マイクロチップを挿入する。針を静かに抜き出す。

【埋め込み後の確認】

1. マイクロチップが正常に機能していることを確認するために再度、馬体をスキャンする。

■ 構造

ライフチップインジェクターEの全体の構成と各部の名称は右記のとおりである。針内には、固有のIDナンバーが記録されたマイクロチップが組み込まれている。



❶ 針の刺入部位を適切に消毒してください。

埋め込み部位が化膿して治療したケースがあります。

❷ マイクロチップは、項韌帯項索部、又はその付近(左頸中央部のたてがみの生え際)に埋め込んでください。

深く埋め込まないように、埋め込み部位の厚み(頸の厚み)を考慮して、針の刺入角度を調整してください。その際、あまり上方(耳根部側)に埋め込まないように、針の刺入部位にもご注意ください。

❸ プランジャーをゆっくり押し込んで、マイクロチップを埋めてください。

急激な押し出しは、マイクロチップが損傷したり、深く埋め込まれる可能性があります。針を刺ししながらプランジャーを押し出すことは、避けてください。プランジャーを押し込む前に、マイクロチップの埋め込みスペースを作るため、針を少し(約0.6cm)引き戻してから、埋め込む方法もあります。

❹ 埋め込み前後には、必ずマイクロチップの番号をリーダーで確認してください。

埋め込む前にマイクロチップが、針内から脱落していたり、針を下方に向けると滑落する場合があります。